

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> <h2 style="margin: 0; padding-left: 10px;">社会福祉学特別研究Ⅱ</h2>	担当教員	単位数	配当学年
	三浦 剛	8単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR(演習)	

### ■事前に受講してほしい講義等

社会福祉学特別研究Ⅰ、障害者福祉論研究、障害者福祉演習

### ■授業のテーマ

学位論文の執筆

### ■授業の目的

修士論文を確実に執筆するための必須の知識と方法を身につける。

### ■授業の到達目標

- ①修士論文の指導を通し、ソーシャルワークの枠組みの中で実証的研究を行う基礎知識と方法を身につける。
- ②特に他領域からのアプローチも可能な「障害福祉」分野での、ソーシャルワーク研究としての視座を明確にし、その上で研究を行う時の必要条件である統計的方法の基礎を身につけて、論文が作成できるようになる。
- ③研究方法論としては事例研究、調査、実験的検討について取り上げ、いずれかの方法で修士論文を作成するための知識と方法を習得する。

### ■授業の概要(内容)

- ①ソーシャルワーク研究の視座について
- ②論文作成の基礎
- ③統計的方法の意味と基礎
- ④事例研究の方法
- ⑤社会福祉調査の方法
- ⑥「現場」における実験的研究の方法
- ⑦個別論文指導

### ■授業の方法

個別指導

### ■授業時間外学修(予習・復習等)

事前準備としては個々の論文作成の問題点を明らかにしておくこと  
 事後の展開としては指導内容を個々の論文に反映させること

### ■評価の方法・基準(評価割合)

指導過程での提出物(50%)、作成された論文(50%)

### ■特記事項

研究分野は障害者福祉分野に限定しない。たとえば「支援の効果測定」、「支援事例の類型化」、「ソーシャルワークの専門性」など、上記の方法論を用いた研究を行おうとするものであれば、高齢者、児童など分野は問わない。「現場」に軸足を置き、実証的研究を行おうとする意欲のある人の参加を望む。

### ■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ(構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回構想レジュメ)提出が必須。

## ■論文作成の流れとポイント（テーマ・内容等）

	ポイント
1	研究テーマの設定について
2	先行研究の調査方法 ①文献検索の方法
3	先行研究の調査方法 ②文献レビューの方法
4	先行研究の調査方法 ③文献レビューの実際（国内の研究論文）
5	先行研究の調査方法 ③文献レビューの実際（海外の研究論文）
6	研究の枠組みについて ①独立変数 - 従属変数の関係
7	研究の枠組みについて ②仮説 - 検証と探索的研究
8	調査研究の方法 ①調査の企画の方法
9	調査研究の方法 ②調査票作成方法（調査項目、尺度の検討）
10	調査研究の方法 ③調査票作成方法（質問紙の作成）
11	調査研究の方法 ④調査の実施と集計の方法
12	調査研究の方法 ⑤結果の分析方法
13	事例研究の方法 ①事例の論理化、代表性の検討方法について
14	事例研究の方法 ②質的研究の方法
15	事例研究の方法 ③質的データの分析
16	研究の背景の執筆について ①テーマの設定理由
17	研究の背景の執筆について ②用語の定義
18	研究目的の執筆について
19	研究方法の執筆について ①枠組み、②手続き
20	研究方法の執筆について ③対象について
21	調査の実施について ①アンケート調査の場合
22	調査の実施について ②インタビュー、面接調査について
23	調査結果の執筆について ①量的調査結果の作成
24	調査結果の執筆について ②事例研究結果の作成（質的分析以外）

ポイント	
25	調査結果の執筆について ③質的データの分析結果の作成
26	考察の執筆について ①構成の方法、②先行研究との比較の方法
27	個別論文指導 ①研究の背景
28	個別論文指導 ②研究目的、③研究方法
29	個別論文指導 ④結果
30	個別論文指導 ⑤考察

#### ■教科書・テキスト

担当者が作成した資料を配付する。

#### ■参考書・参考資料・参考 URL 等

授業中、または随時指示する。